

2013 vol.194 APR

SOUSAKU

創作手工芸



公益財団法人日本手工芸作家連合会

●公益財団法人認定にあたって

公益財団法人日本手工芸作家連合会

会長 花村 邦 昭



かつて「ものづくり王国」を謳歌していました我が国は、いまや中国、インド、ブラジル、インドネシア等々の新興諸国にそのお株を奪われ、かと言ってアメリカのように知識情報社会でのトップリーダーにもなりえず、方向感を見失ってただ漂流しているだけといった憾があります。我が国はこのまま、これと言って特徴のない二流国家に成り下がってしまうのでしょうか。決してそうなってはなりません。

では、これから何をもって日本は世界にその存在感を示していけばよいのでしょうか。四季の巡る「美しい自然」、豊かな食材と繊細な美意識をもって丁寧に調理された「おいしい料理」、優しく行き届いた「おもてなしの心」、全国各地の様々な特色ある「観光資源」等々、世界に誇るべきものはまだまだたくさんあります。それらをどう生かすかはこれからの大きな国家事業ではありますがここで申し上げたいのはそのことではありません。

問題はあくまでも、「ものづくり」において日本がひきつづき世界をリードするには何をどうすればよいかにあります。もともと日本人は土地々々の素材を生かし、巧みな技をもってそれに微細な加工を加え、豊かな感性と実用の智恵をもってそれを美しく装飾して、世界に誇るべき美術工芸作品を数多く産出してきたという歴史を共有しています。そしてこの伝統は現代産業社会の基底にあってもなお脈々と受け継がれています。たとえば、ユニークな発想と日本人特有の感性をもって開発された新素材、高度微細加工技術によってもたらされる高性能精密加工部品、深い人間的理解を背景に開発される各種ロボット、最新の情報技術・高度画像処理技術を駆使して制作されるアニメ作品などもそれです。

「ものづくり立国」日本を復活させるのに、豊かな感性、創意工夫、辛抱強さ、勤勉性、手先の器用さ、一致共同、などの日本特有の手工芸文化のこの伝統を生かさない手はありません。考えてみればこれらはいずれも、我々「日本手工芸作家連合会」がこれまで四十五年の長きに亘って追求してきた、また普及を図ってきた基本的テーマであります。いま我が国には膨大な手工芸人口があります。それらの方々が営々として培ってこられた手工芸文化は、いまなお全国各地で生き生きとその命脈を伝えてくれています。これを二十一世紀の「ものづくり」国家再生への起爆剤として改めて活性化させるのです。それこそが手工芸文化の再生と普及に賭けるわれわれ「日本手工芸作家連合会」会員の共通のねがいがあります。

審査委員長 大 矢 紀



待ちに待った東京都美術館のリニューアルされた新しい会場で平成24年11月8日（木）から15日（木）第45回創作手工芸展が開催されました。JR上野公園口から都美術館までの道のりは他の会場では感じられない一種独特の雰囲気、ワクワクする気持ちにしてくれるのです。それぞれの作品が会場で、どの様に見えるのか、あるいは審査の時には気がつかなかった見落としが無かったかどうか期待と反省、選ぶ人が他から選ばれていると云う自覚のもとに、出品者の人達も含め多くのお客様から良い展覧会であったと喜んでいただけただらと思うのです。正面入口からエスカレーターで下りると左右に別れて会場があり、非常に見やすい感じで入選作品が陳列されており、中央のしかるべき所にはそれぞれの受賞作があり、一点一点をゆっくりあらためて見させていただきました。

扱、本年も例年の通り「想と技」の両面から審査員一同それぞれ自分の信念のもとに見せていただきました。「文部科学大臣賞」には猪俣一博氏の「月、影、光」が全員一致で選ばれました。非常に斬新で技術的にも優れ今は少なくなった欄間を感じさせ左右の曲線も効果的です。「東京都議会議長賞」の佐久間久代さんの作品「白いばら」は色調がノーブルで品格を感じ桃山時代を彷彿とさせる。又七輪のバラの花の配し方もよい。「大妻コタカ賞」の佐久間恭

子さんの「樹響W」は一見地味ではあるが森の木々のひびきが深く静かに聞こえてくる様な作品で印象に残る。「日本手芸作家連合会会長賞」の杉田眞由美さんの「春の隣」は仲々の労作ではあるが「想」が他の人の作品に似た所もあり今後は独自のものでも勝負してもらいたい、技はあるのだから。「審査委員長賞」の吹越順子さんの「海」は微妙なグラデーションが海の神秘を感じさせる。「奨励賞」池田ちあさんの「ほとぼしる一滴から」は渋い中にもデザインの楽しさを、高木弘佳さんの「祈り」は丁寧な中にも品よく色よし、崎村倭文子さんの「紫陽花」は屏風の仲々の労作である。欲を云えば右上のモミジに一考を要す。「御殿手毬」の管原美東さんの作品はとにかく楽しく、「佳作賞」の土門玲子さん「祝い日のしつらい」はゴージャスなインパクト有り、保田千恵子さんの「ファンタジー」ノーブルな色彩での衝立で感性の良さを見る。「新人賞」は四名で鈴木朋世さんの「滴のきらめき」百合の花が生き生きと表現され、佐藤紗智子さんの「自然のささやき春から秋の草花たち」四季折々のすばらしい花と東北の被災地に心寄せるやさしさ、菊池史子さんの「重想・奏でる」タピストリーのなんとも云えぬグラデーションの色調に魅力あり、石川桂子さんの「山形県の地図」はふるさとへの想いがあふれ構図も大胆。「特別賞」は十五名で「藍彩」池田節子さんの単純に見えて仲々のお仕事と拝見しました。それぞれの受賞者とは紙一重です。今後の精進、最後は自分との戦いです。がんばって下さい。（日本美術院同人）

第45回創作手工芸展 受賞作品

文部科学大臣賞

「月・影・光」

猪俣 一博



この度は文部科学大臣賞に選出して頂き誠にありがとうございました。父の後を継ぎ組子を作り始めて20年、区切りの年に生まれた年に始まった歴史ある創作手工芸展にて素晴らしい評価を受けた事を大変嬉しく光栄に思います。今後も日々の精進を怠らず、日本の伝統工芸の普及継承に務めて行きたいと思えます。

出品の切っ掛けになったパリにて声をかけて頂いた手工芸作家連合会の皆様に感謝致します。ありがとうございました。



大妻コタカ賞

「樹響W」

佐久間 恭子



東京都議会議長賞

「白いパラ」

佐久間 久代



日本手芸作家連合会会長賞

「春の隣」

杉田 真由美



審査委員長賞

「海」

吹越 順子



奨励賞

「ほとばしる一滴から」

池田 ちゑ



奨励賞

「祈り」

高木 弘佳

奨励賞
「紫陽花」
崎村 倭文子



奨励賞
「御殿手毬」
菅原 美 東

佳作
「祝い目のしつらい」
土門 玲子



佳作
「ファンタジー」
保田 千恵子



新人賞 「滴のきらめき」 鈴木 朋世

この度は新人賞を賜りまして、誠にありがとうございました。このような作品に取り組ませて頂き、熱心にご指導下さいました先生に心より感謝申し上げます。作品の制作に当たり、自然の中に咲くアジサイとユリが滴に濡れてきらめいている、その美しさを表現することを大切にしました。ひとつの作品に向き合い、自分の手で作り上げることの喜びを感じながら、今後も更に精進して参りたいと思います。

新人賞 「自然のささやき 春から秋の草花たち」 佐藤 紗智子

クレイアートフラワー（粘土の花）

15年くらい前からの希望がかなって、思いきって出品させていただいたところ、思いもよらず新人賞を戴き、本当に感激しております。ありがとうございました。

きれいな花や、野草であっても、命のある限り、美しさ、たくましさ、やさしさ…と、それぞれの表情を持っています。四季折々の咲く花の心をとらえ、その美しい表情を何時までも残しておきたい気持ちから作っております。作っていると、花の気持ちが伝わって来る様な気がします。

展示会にあたり先生方のご尽力に感謝すると共に日本手芸作家連合会の御発展を心よりお祈り申し上げます。



新人賞 「重想…奏でる」 菊地 史子

今回、新人賞を戴きありがとうございました。この作品は大学で「私」をテーマに制作しました。織について初心者の方に一からご指導して下さいました先生方のおかげでできた作品だと思っております。

また、絵画を学んできた経験も今回の作品に繋がったのだと思います。

これから今回の制作で学んだことを生かし、私らしい作品を作っていきたいと思っております。

新人賞 「山形県の地図」 石川 桂子

このたびは歴史ある創作手工芸展で新人賞をいただきありがとうございました。

第二の人生を送っている故郷、山形県遊佐町。そこで長く伝承されてきた「遊佐刺し子」の存在を知りました。藍染めの法被に装飾のために白の木綿糸で刺された文様。これを後世に伝えなければと熱心に取り組んでいる「遊佐刺し子」教室主幹の土門玲子先生にご指導を受け、この受賞作品ができあがりました。これまで針仕事に無縁だった私に針の持ち方から教えていただいたことに心より感謝申し上げます。



● 美しき物のみかた

日本美術院同人 大 矢 紀

文化というものは、その国その風土等によりいろいろ特色特徴があります。我が国は万葉の時代から大陸の影響を受けながら日本独自の文化を造り上げて来ました。紋章を一つとり上げて見ても天皇家の菊は特別のもので他家が模倣することは出来ません。他に桐の紋章も合わせ使用していた事もあります。桐は近衛家も使用しており豊臣家も朝廷のゆるしを得て使用しており徳川家の三つ葉葵は時代劇等によく出て来て有名です。

こう云った紋章は多くは草花など植物からのデザインで雅びでそれぞれ美しいものです。

又日本独自に発達した和服、いろいろな着物の型や冠婚葬祭の折の家紋も又美しいものです。

和菓子につくる折に使用される木型のものやお茶席にだされる色あざやかな干菓子も一段のおもむきがあります。奈良正倉院には国宝や重要文化財の品々が多数あり各寺社等にある仏像などは本当にすばらしく又その肉体は美しいものです。形とかは時代により変化しますがその時代の人々の感性がにじみだされております。今日これらの作品、立像が存在しているのは明治になった折に御一新のもと廃仏毀釈の波にのまれた折これを救ったのは岡倉天心であります。天心は号で角蔵が本名、文久二年横浜に生まれる（父は福井藩の物産方役人で藩名により横浜で石川屋のもと外国との交易にあたる）そんな関係で六才から英会話を学び第一回の帝国大学卒業生である。しかし天心が勉強したのは経済

学や法律などである。早熟な天才天心は十八才の折に家に手伝いに来ていた十四才のモトと結婚して卒業論文の為日夜没頭して妻をかえり見る時間がなかった。福井の田舎から来たばかりの妻は卒論の大切さも知らずこんな物があるから私をないがしろにするのだとばかり天心が一寸外出した折にその卒論を燃してしまったのである。天心は大いに困り今まで書いていた「国家論」から日本の美術に関する「美術論」を一週間で書き上げたのである。人生に「もし」と云う事があれば「国家論」では大蔵省に入省したであろう天心が「美術論」によって文部省に入省したのである。しかしその天心により現在我が国の国宝重要文化財の選別又音楽、美術学校の設立にも関した事を思う時、「IF」と云う運命に感謝しなければならない。

「美しき物のみかた」と云うものは見る人の心にあると私は思うのである。その見る人の美に対するレベルの高さ教養などにもあるていど比例するのではないかと思う。

又その国の国民性や一部経済力などによる作品も一考を要する。未開の地の土俗的な作品にも天や地に感謝する祈りや、物を見る時あゝこれも一つの物の見方でありその地域のすばらしい文化と云えるのである。私たちは終わりのない美しき物に挑戦して行きたいものである。それには心の濾過も大切である。

お知らせ

平成25年度 講習会のお知らせ（前期4月～10月）

開催日	講師名	テーマ	会場	時間
4/13	松本 志津美	ビーズネックレス	京橋越前屋ビル	10:30～15:30
5/11	本橋 雅恵	ハーダンガー刺繍・ピンキーブ	京橋越前屋ビル	10:30～15:30
5/15	道家 絢子	ポンポン手芸(くまさんのぬいぐるみ)	クロバー(株)日本橋馬喰町ビル4F	10:30～15:30
6/8	横田 圭子	カルトナージュ	京橋越前屋ビル	10:30～15:30
7/13	副島 幸子	コサージュ・スワロスキー・りぼん	京橋越前屋ビル	10:30～15:30
9/14	中嶋 留美子	くみひもストラップ	京橋越前屋ビル	10:30～15:30
9/27	佐久間 恭子	木枠織(カラーワイヤー・糸・ビーズ)	大妻コタカ記念館	10:30～15:30
10/12	大網 美代子	デコパージュ・刺繍ボタン	京橋越前屋ビル	10:30～15:30

平成25年度 所属作家作品展他お知らせ（前期4月～10月）2月末現在

講師名	テーマ	会場(所在地)	会期
片山 理恵子	フラワードリーム 2013 in 東京ビッグサイト	東京ビッグサイト	4/13～4/14
〃	リビエール ワールド・シュエナルパイテン	東京四ツ谷	5/27～6/1
土門 玲子	遊佐刺し子 体験数学	山形県庄内空港会議室	4/13～10/26(隔週土曜)
〃	第7回クラフトフェスタ鳥海参加(展示)	山形県遊佐町西浜島温泉ギャラリー	9月
横田 圭子	カルトナージュの作品展	東京代々木上原 Do Pnogetti	11月
山本 尋子	大岡越前祭参加(染)	神奈川県茅ヶ崎市民文化会館	4/20～4/21
森田 富士子	作品展(刺しゅう)	ギャラリー青羅	4/1～4/3
平山 泰子	第21回創作手工芸梅支部展 刺しゅう	NHK福岡放送センターギャラリー2F	9/18～9/22
石田 則子	シャドーアート展	東部公民館	10/26～10/27
菅原 美東	ちりめん遊び・羽子板	北九州市北方センター	4/7～4/9

- 片山教室、土門教室では上記の他に公開レッスン、展示会等があります。ホームページをご覧ください。
尚、会員の皆様の活動状況をお知らせしますので、事務局宛にお願いします。

2012年 書籍出版関係お知らせ

氏名	タイトル	発行元	発売日
横田 圭子	かんたんカルトナージュに刺繍をアレンジに	主婦の友社	1月

資格取得へのおすすめ

●本連合会は、手工芸教育の普及発展を目的として手工芸指導者の養成教育として資格認定・免状授与を行っております。資格取得後は手工芸セミナーの指導者、社会教育における中学・高等学での指導者、生涯教育における指導者などの派遣を通してさまざまな手工芸分野で活動し、技術の向上に貢献しております。また、支部・教室で技術を習得することもできます。資格取得は生涯学習の宝です。

●資格免状取得者

教授	上田佳子	欧風刺繍		鈴木朋世	欧風刺繍
	松本志津美	スモック刺繍		山村麻里子	フラワーデザイン
助教授	本橋雅恵	ハーダンガー刺繍		大串愛子	〃
	土門玲子	遊佐刺し子		佐立妙子	〃
	北村亜土	盆栽工芸		足藤しのぶ	〃
	高木弘佳	ハーダンガー刺繍		峯川友紀	〃
	崎村倭文子	欧風刺繍		斉藤満子	〃
講師	安達静枝	スモック刺繍	普通科	伊藤佐和子	ニット
高等科	伊藤佐和子	ニット		池田ちゑ	遊佐刺し子
	池田ちゑ	遊佐刺し子		土門コト	遊佐刺し子
	杉田眞由美	ハーダンガー刺繍		飯村由美	スモック刺繍
	三浦かすみ	スモック刺繍		井口まゆみ	〃
	飯村由美	〃		堅田美枝子	〃
	井口まゆみ	〃		神山康子	〃
	堅田美枝子	〃		濱田昌世	〃
	神山康子	〃		吹越順子	〃
	濱田昌世	〃		櫻井純子	〃
	吹越順子	〃		小蔵紀子	〃
	大塚こずえ	〃		山村麻里子	フラワーデザイン
	櫻井純子	〃		大串愛子	〃
	深谷由美子	〃		足立妙子	〃
	土門コト	遊佐刺し子		佐藤しのぶ	〃

●新入会員紹介

大谷祥子	山形県
阿部敬子	〃
佐藤美代	〃
池田きみ子	〃
佐藤ヲヨシ	〃
斉藤美紀子	秋田県
持田英世	神奈川県
八木豊子	〃
北爪哲子	東京都
足立妙子	〃
佐藤しのぶ	千葉県
大串愛子	茨城県
山村麻里子	埼玉県
森島栄子	茨城県
信太清美	東京都
二見元子	神奈川県
鮫島絹枝	〃
清水美孔こ	静岡県
斉藤美代子	神奈川県

(平成24年10月～平成25年3月末)

事務局だより

●第46回 創作手工芸展(公募展) 主催：公益財団法人日本手工芸作家連合会

会 期：平成25年11月8日(金)～11月15日(金)

会 場：東京都美術館 ギャラリーC

応募期間：平成25年7月初旬～10月末日

出 品 料：会員 10,000円

一般 12,000円

学生 5,000円

●京都研修会のお知らせ

本連合会が公益財団法人として認定されることとなったのを機に、日本文化のメッカ京都で研修会を開催します。手工芸作品の制作にあたって必要とされる審美眼、美的感性、オブジェへの深い探求心等に磨きをかけていこうとする思いと喜びを共有して参りたいと考えております。

詳細はホームページ又は事務局へお問い合わせください。

*パンフレット請求・お問い合わせは事務局まで。

編集後記

194号は公益財団法人日本手工芸作家連合会として初の機関誌です。

本誌をはじめ、本会のホームページが皆さまにふさわしい活動の場となることを期待しています。ご意見などお寄せください。次回発行は10月です。(編集部一同)

構成題字：細川 努 表紙作品：佐久間 久代

発行日/2013年4月吉日

発行/公益財団法人日本手工芸作家連合会
〒101-0052

東京都千代田区神田小川町三-6-10

MOビル 407号室

TEL 03-5282-5141 FAX 03-5282-5140

E-mail: info@syukogei-sakka.or.jp

URL http://www.syukogei-sakka.or.jp/